

1月9日(木)

年末より、お昼寝前に
ひとり1枚、絵を描いています

佐倉東では、このお昼寝前に描く絵のことを
『生活画』と呼んでいます

生活画は、仲間と一緒に
会話を楽しみながら描くのではなく、
ひとりでじっくりと描きます



黒・茶・青・緑のペンから
その日使いたい1色を
子どもたちが自分で決めます



生活画って・・・？

落ち着いた雰囲気の中で、自分の心と向き合いながら……

子どもたちは、その時に感じていることや思いを
紙の上に表現しています

この時間は、心を落ち着かせたり、
気持ちを切り替えたりする大切なひとときです

それぞれのペースで穏やかに過ごし、
絵が描き終わると
自分のタイミングで眠りにつけるようになっています



自分の言葉で伝える

絵を描き終えた子どもから、保育者に絵を見せ
「なにを描いたのか」を自分の言葉で伝えます

保育者は、子どもの話が終わるまでじっくり耳を傾け
その言葉を絵の裏側に丁寧に記録しています



中には、話す時にどきどき緊張している様子だったり
自分の思いを言葉にすることに難しさを感じている子もいます
そんな時は、保育者が質問をしたりしながら
子どもたちが自分で考え、自分の言葉で伝えられるよう援助しています

自分の話をじっくり聞いてもらうこと
そして、それを認めてもらう経験を重ねることで
子どもたちは次第に自分に自信を持ち、
自分の言葉で表現する楽しさを味わえるようになっていくのです